

『だるまに託す思い』

令和7年1月8日

新年のお喜びを申し上げます。今年は、天気にも恵まれ、気持ちの良い新年を迎えられたことと思います。

1月8日の朝は、『明けまして おめでとうございます』と挨拶をして登校してくる元気な子供たちを迎え、嬉しい気持ちで1日がスタートしました。私は、冬休みに入る前に子供たちと一つだけ約束をしました。『心と体を元気に！ 命を大切に！』という約束でしたが、始業式の今日、元気な子供たちの姿を見て安心するとともに、保護者の皆様の支えがあってこそこの姿であると感じています。ありがとうございます。

さて、始業式のなかでは、各学部代表が新年の抱負を発表しました。小学部の児童は「できることを増やしたい。卒業式で旅立ちの歌を、心を込めて歌いたい。」、中学部の生徒は「長距離走を頑張りたい。できればタイムにもこだわりたい。」、高等部の生徒は「清掃技能検定を頑張りたい。毎日、笑顔で過ごしたい。」と発表しました。私も自身の目標を右のように子供たちに伝えました。大切な素晴らしい子供たちと向き合うためには、私自身が清々しく一日一日を生きることだと考えての目標です。

あたら とし む こうちよう もくひょう
新しい年に向けて 校長の目標は…

にちじょう すがすが
日常を清々しく

!!
■ そうじ
身の回りを、きれいにする
(みえないところ、誰かが気持ちよくなる場所)

■ ありがとう、あいさつ
目の前の人に対して気持ちよく接する
(学校のみなさん、いろいろな方に)



3学期は各学年、まとめの時期でもあり、次年度への助走の時期でもあります。一人一人の子供たちが、何かに夢中になったり、試行錯誤しながら目標に一步步近づいたり、新しいことを学んだり、学びをさらに深めたりする毎日、何より皆が笑顔で、健康であることを願っています。小学部1年生制作の「だるま」に願いを託し、よい1年にしていきます。本年もよろしく願いたします。

皆様におかれましても、幸多き1年となりますように。